

熱田区高蔵学区

避難行動マップ

～災害なんかに負けない地域づくり～ 絆で助けよう みんなの命

この避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、高蔵学区にお住いの皆さまが、お住いの地域の危険箇所や避難経路などについて確認し、作成したものです。
この避難行動マップをもとに「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日ごろから考えておきましょう。

町内会・自治会に加入しましょう。

町内会の一時集合場所

役に立つもの！

1. コンビニエンスストアなど

「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となった時、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗もあります。トイレや避難スペースの提供など災害時可能な範囲で協力が得られます。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。

4. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

5. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



6. 地下式給水栓

災害時に地域のみなさま自ら操作していただくことで、飲料水を確保するための設備です。



左：マンホール
右：設置の様子

7. 津波避難ビル

大津波警報が発表されたとき、高台への避難が困難か、避難する時間がないときなどに一時的に避難する施設です。

地域の避難先の表示



指定緊急避難場所
Safety Evacuation Area



指定避難所
Designated Evacuation Site

指定緊急避難場所…命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる。)
指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るためのところ



洪水・内水・高潮
Flood



地震の揺れ
Earthquake

大規模な火事
Fire Disaster

指定避難所 Shelter
指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

指定避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。必ず指定避難所を利用してください。

気をつけて！

災害時に避難する際には、狭い道路はふさがれ通れなくなったり、通行時に怪我をしったりする恐れがあります。避難時は周りの様子を気をつけよう！

- ① 耐久性のない古い(空)家
- ② 道路に面する高いブロック塀
- ③ 建物からの飛散ガラスの落下
- ④ 自動販売機の転倒やマンホールの隆起
- ⑤ 切れて垂れ下がった電線
- ⑥ 浸水、冠水しやすい場所

指定避難所一覧

番号	名称
1	高蔵小学校
2	沢上中学校
3	高蔵コミュニティセンター
4	労働会館

凡 例

指定緊急避難場所	仮設給水栓
指定避難所	下水道直結式仮設トイレ
津波避難ビル	公衆電話(屋内終日使用不可)
一時避難場所	公衆電話(屋外終日使用可)
集合場所	医療救護所
地域防災協力事業所	注意箇所
災害応急協力戸	避難経路

地域防災協力事業所一覧

名称
名古屋トヨペット株式会社 一時的な避難場所、救助器材の提供
ヤマサ総業株式会社 炊き出し資機材(食料品を除く)の貸与、炊き出しスペースの提供
ネットトヨタ名古屋株式会社 熱田店 救助資機材の提供
イオンモール熱田 一時避難所、一時避難者に対する緊急生活物資の提供(飲料水、医療品等)
株式会社山田商会 機工具類の一時貸出し
スポーツクラブ&スパルネサンス名古屋熱田 一時的避難場所の提供(敷地及び施設の指定する場所)、消火用水及び生活用水としてプールの水の提供
荏原実業株式会社中部支社 室内消毒装置2台の貸出し

熱田区高蔵学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、津波の名古屋港への到達時間は96分と予測され、高蔵学区では津波の浸水はございませんが、もし震災時に津波浸水地域にいる場合は高台か津波避難ビルへ避難しましょう。

また、**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応

揺れた

- 身の安全の確保
- 頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 安全に消せる場合は火を消す
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう



揺れがおさまった

- 火が出たら初期消火
- ガスの元栓を閉める・ブレーカーを落とす
- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入り口の確保
- ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備
- 避難する際の戸締り ●ご近所の安否確認

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。



大津波警報発表

津波浸水地域にいる場合は、高台や津波避難ビルを目指して避難開始

津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消
自宅での滞在が可能か

在宅避難
避難先へ

津波から安全に避難するための5つのポイント

- 1 揺れが収まったら高台へ。時間が無ければ津波避難ビルへ避難！
- 2 原則徒歩で避難！
- 3 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！
- 4 引き返さない。安全確認が済むまで避難継続を！
- 5 海岸や川沿いは絶対に近づかない！

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上って、海岸から離れてください。

一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう**協力**しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など。

対応方法



移動が難しい方

例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。

対応方法



自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を！

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける”在宅避難”を考えましょう。その際は、右記のことを心がけましょう。

- ・在宅避難している高齢者や障害者などに声を掛けよう！
- ・周囲に自宅避難を知らせよう！
- ・最寄りの避難所で避難者登録をしよう！
- ・周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう！

備蓄品・非常持出品 チェックリスト

災害や避難に備えて、ふだんから準備・点検しておきましょう。

備蓄品の例 災害に備えて用意しておきたいもの

命をつなぐために用意しておきたいもの

- ☐ 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
 - ☐ 常備薬(持病の薬を含む)
 - ☐ 飲料水(ペットボトル)
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分程度用意しましょう

内3日分程度は非常持出品へ

非常持出品の例 避難する時に持っていくもの

防災用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 軍手
- ☐ マスク

貴重品

- ☐ 現金(小銭も必要)
- ☐ 預(貯)金通帳の写し
- ☐ 健康保険証・免許証の写し
- ☐ カード類
- ☐ 認印・印鑑など

照明等

- ☐ 懐中電灯(電池含む)
- ☐ マッチ・ライター

医療用品

- ☐ 三角きん
- ☐ 包帯・ガーゼ
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 消毒薬
- ☐ ウエットティッシュ(ティッシュ)
- ☐ お薬手帳

食器類

- ☐ はし・スプーン
- ☐ 紙皿・紙コップ

便利用品

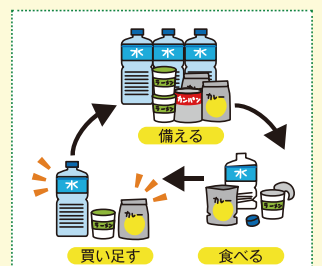
- ☐ 筆記用具
- ☐ 新聞紙
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ ゴミ袋
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 雨具
- ☐ 手動携帯電話充電器

衣料品

- ☐ 衣類(着替え)
- ☐ タオル(大小2種類)

その他(個人的に必要なもの)

- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 生理用品
- ☐ 予備のメガネ・補聴器など



※ローリングストック法
家庭で消費している日持ちする食品を余分にストックしておき、使った分を買い足すことで、普段の生活の中で負担なく備蓄することができます。

